

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について（速報）

磐田市教育委員会

1 はじめに

令和7年4月に実施した「令和7年度全国学力・学習状況調査」の概要をお知らせします。本市の調査結果を公表することにより、児童生徒に関わる様々な立場の方々に関心をもっていただき、学校・家庭・地域が一体となって磐田市の子どもたちを育てていきたいと考えております。

なお、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部分を測定したものであり、子どもたちの学力や学習状況を把握する資料の一つとして、一人一人に応じた指導や学習状況の改善のために役立てていきたいと考えております。

2 小学校調査における結果概要

(1) 全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		算数		理科	
	平均正答数 (14 問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (16 問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (17 問)	平均正答率 (%)
磐田市	9.5	68	9.4	59	9.9	58
県（公立）	9.2	66	9.1	57	9.4	55
全国（公立）	9.4	66.8	9.3	58.0	9.7	57.1

(2) 成果と課題

	○成果 ●課題
国語	○話し手の考え方と比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○目的や意図に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる問題に課題があった。
算数	○平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを言葉を用いて記述できる問題に課題があった。
理科	○赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、【結果】や【問題に対するまとめ】を基に、ほかの条件での結果を予想して、表現することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●レタスの種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現することができるかどうかをみる問題に課題があった。

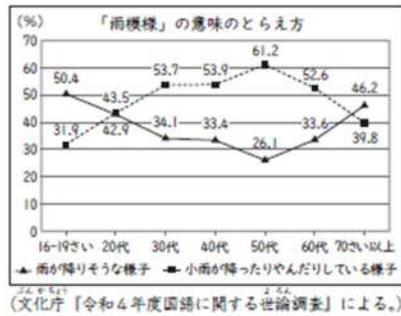
＊課題に示した調査問題 【国語】

- 4 【資料1】の部④
- 3 【資料1】の部③
- 2 【資料1】の部②
- 1 【資料1】の部①

(1) 【話し合いの様子】の A に当てはまる内容として最も適切なものを、
 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

言葉の変化については、いろいろな考え方があんだね。
 もう一度【資料1】を読み返して、言葉の変化について自分が一番なっとく
 したことをまとめよう。

木村さん



こんなふうに、人によって言葉の意味のとりえ方がちがうと、伝え合うときに困ると思うよ。だから、
 【資料1】に「A」と書かれているとおりに思うよ。

田中さん

本当だ。三十代から六十代は本来の意味とはちがう「小雨が降ったりやんだりしている様子」ととらえている人の割合が高いね。

木村さん

私は、この資料（資料4）を見つけたよ。これを見ると、世代によって、「雨模様」の意味のとらえ方にちがいがあることが分かるでしょ。

田中さん

【資料4】
 ぼくが読んだ二つの資料（資料2、【資料3】）には、言葉が変化していることが書かれていたよ。【資料1】に「言葉の正誤を軽々しく決めることはできない」と書かれていることにつながっているよ。

木村さん

三 木村さんは、言葉の変化について田中さんと話し合いながら、【資料1】を読み返しています。次の【話し合いの様子】をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

＊課題に示した調査問題 【算数】

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の2個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の1個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、2 + 1 を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の3個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の2個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。



レタスの種子を発芽させようと思って、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、１つも発芽しなかったよ。

たかひろさんが行った実験



しめらせ^{めん}
だっし綿

〈条件〉

- ・水あり
- ・空気あり（種子が空気にふれている）
- ・温度（室温）
- ・日光なし（箱をかぶせている）
- ・肥料なし

水、空気、温度のほかにも、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるのかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から１つ選んで調べてみたい。



（４）てるみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけました。てるみさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を１つ書きましょう。

3 中学校調査における結果概要

(1) 全国学力・学習状況調査平均正答数と平均正答率

	国語		数学		理科
	平均正答数 (14 問)	平均正答率 (%)	平均正答数 (15 問)	平均正答率 (%)	平均 IRT スコア※
磐田市	8.0	57	7.9	53	543
県（公立）	7.9	56	7.6	51	527
全国（公立）	7.6	54.3	7.2	48.3	503

※IRT（項目反応理論）について

児童生徒の正答・誤答が問題の特性(難易度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。IRT スコアは標準化された指標であり、500 を基準として設定されているが、実際の平均スコアは試験や年度によって変動することがある。

(2) 成果と課題

	○成果 ●課題
国語	○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる問題に課題がある。
算数	○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●一次関数 $y=ax+b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる問題の正答率が低かった。
理科	○身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ○スケッチからわかることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付いているかどうかをみる問題の正答率が高かった。 ●台地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて、地層の広がりを検討して表現できるかどうかをみる問題について課題がある。

* 課題に示した調査問題 [数学]

4 一次関数 $y = 6x + 5$ の変化の割合は 6 です。この一次関数について、 x の増加量が 2 のときの y の増加量を求めなさい。

＊課題に示した調査問題 [国語]

＊課題に示した調査問題 [理科]

四 で開かれた部分には、兄弟が目的を達成できなかった場面のあとに続く話が書かれています。あとに続く話は、「一 榎木の実」にはありますが、「二 釣の話」にはありません。このような展開になっていることは、「二人の兄弟」という物語においてどのような効果があると考えますか。あなたの考えとその理由を具体的に書きなさい。理由を書く際には、物語の内容を取り上げて書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

(島崎藤村 「二人の兄弟」)

3 次の文章は、島崎藤村が書いた「二人の兄弟」という物語です。この物語は、「一 榎木の実」、「二 釣の話」で構成されています。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



自分の足元にある地層を調べることで、自分の地域についていろいろなことが分かるんですね。



地層のボーリング調査のモデルから、分かることを考えましょう。
図1は、Aさんの住んでいる地域について、等間隔にボーリング調査をした4つの地点です。現在、この地域は標高差がなく、平らな地域です。かつては地層が西から東に下がるように傾いていた地域でした。



図1 Aさんの住んでいる地域



図2はボーリング地点①、②、④の結果です。この結果から、 の地層は、
『・ は地表面の下に存在する
・ 同じ厚さである
・ ボーリング地点②と④の間に断層が一つある』
と考えました。



Aさんの下線部の考えが正しいなら、ボーリング地点③の結果が予想できますね。



ボーリング地点③の結果は、どのようにになっているのかな。

【ボーリング調査の結果】

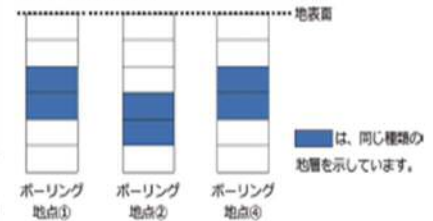


図2 ボーリング調査の結果

(2)

下線部の考えが正しいと言うためには、ボーリング地点③のボーリングの結果がどのようになればよいか。

 を必要な数だけ適切な位置に移動させ、最も適切なボーリング地点③の結果を示しなさい。

